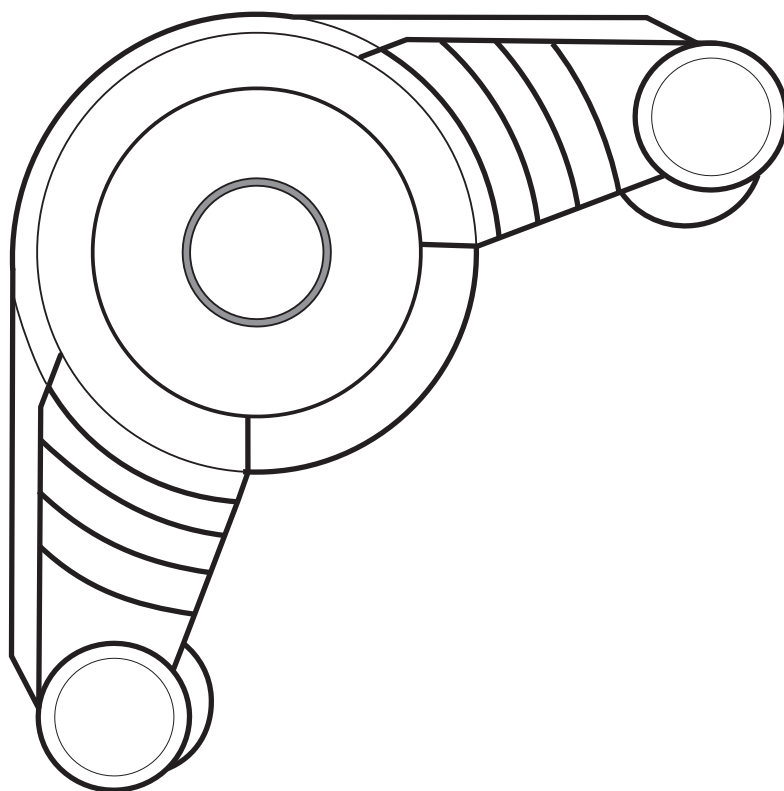


取扱説明書

Interactive unit eB-3N (インタラクティブユニット eB-3N)



ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるように保管場所を決めて、大切に保管してください。

目 次


安全上のご注意 必ずお守りください.....	3
取扱上のご注意 必ずお守りください.....	4
商標について.....	4
梱包品の確認.....	4
特長.....	5
使用条件.....	5
ホワイトボードモードの利用について.....	6
マーカーホルダーとイレーザの準備.....	6
USBセンサーポッドの接続と取り付け.....	6
インストールと使用方法の選択.....	6
調整方法（キャプチャエリアの調整）.....	7
ホワイトボードモードでの便利な使い方.....	7
プロジェクションモードの利用について.....	8
ホワイトボードとコンピュータ、プロジェクタの準備.....	8
プロジェクションペン.....	8
ソフトウェアのインストール.....	9
調整方法（エリア調整）.....	11
使い方.....	12
ホイールツールバーの使い方.....	12
デスクトップホイールツールバーの使い方.....	13
アノテーションホイールツールバーの使い方.....	13
パワーポイントツールバーの使い方.....	14
スクラップブックホイールツールバーの使い方.....	14
スクラップブックの使い方.....	15
ネットワークミーティングの使い方.....	18
トラブルシューティング.....	21
おもな仕様.....	22
保証書.....	24


安全上の注意

～安全のために必ずお読みください～


本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。


本書に記載する記号について

 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。



表示の例

 **禁止** ⊘ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図中や近傍に具体的な禁止内容（左図記号の場合は分解禁止）が描かれています。

 **指示** ● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図のなかには具体的な指示内容（左図記号の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告

-  機器の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。
-  電池（プロジェクションペン用）の取り扱いを誤ると火災や人体への傷害の原因、破損してけがや周囲の汚染の原因となります。
 - 電池は子供の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。
 - 電池を火や水の中に入れてください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥した場所に保管してください。
 - 電池に衝撃を加えたり、傷つけたりしないでください。
 - 交換電池を入れるときは、極性表示に注意して正しく入れてください。
 - 電池が液漏れした場合は、漏れ液を布などで拭き取って新しい電池に交換してください。漏れ液には直接触れないでください。皮膚や衣服に付いてしまった場合は水でよく洗浄してください。

取扱上の注意

～安全のために必ずお読みください～

■お願い

本機に強い衝撃をあたえない

- ・ 機器障害の原因となります。

暑い場所（35° C 以上）や寒い場所（10° C 以下）には置かないでください

- ・ 誤動作の原因となります。

専用のペン以外を使用しないでください

- ・ 書いた文字、線が消えなくなります。

無線機能（テレビ・ラジオなど）の近くに置かないでください

- ・ ラジオ・テレビジョン受信機能等に受信障害を与えることがあります。

商標について

eBeam、eBeam Mouse は、Luidia, Inc. の商標です。

IBM は、米国 IBM Corporation の商標です。

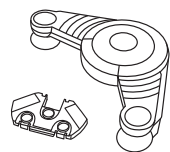
Excel、Internet Explorer、Microsoft、PowerPoint、Windows、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

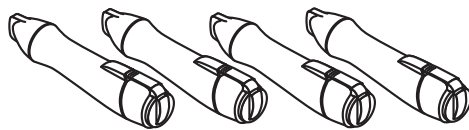
梱包品の確認

下記の商品が同梱されているかお確かめください。

万一足りないものがあった場合は、販売店までお問い合わせください。



USBセンサーポッド(ユニット)
(マグネットブラケット付き)



マーカーホルダー(黒、赤、緑、青)



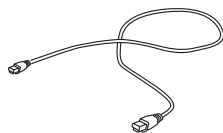
レーザー



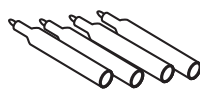
レーザーホルダー
(マグネット付き)



吸盤ブラケット



USBケーブル



マーカー
(黒、赤、緑、青)



eBeam ソフト CD×2



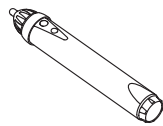
ショートカットストリップ



両面テープブラケット



取扱説明書
保証書



プロジェクションペン
(マウスペン)



予備のペン先×2



ボタン電池(10個)

CR2032

特 長

■ ホワイトボードモード

ホワイトボードに書き込んだ文字や図形をインタラクティブユニットに接続されたパソコンにリアルタイムに取り込みます。取り込んだ情報は、パソコン上で表示、編集、保存、印刷が可能です。メモをとる煩わしさがありませんので会議に集中できます。

■ プロジェクションモード

パソコン画面をデータプロジェクターでホワイトボードに投影してワープロや表計算などのアプリケーションを専用のスタイラスペンを使って、ボード面で操作できます。

■ ネットワークミーティング

ミーティングに参加するには同室にいる必要はありません。ネットワークを介して参加できます。

■ プレイコントロール

書き込んだ内容の推移を後で確認することができます。

■ サムネイル表示

全ての画面を表示することができます。

■ 背景への各種データの取り込み

背景画像として以下のファイル形式がサポートされています。

- ・ビットマップ(*.bmp)
- ・グラフィックファイル(*.gif、*.jpg、*.ico、*.emf、*.wmf)
- ・Excel スプレッドシート(*.xls)
- ・PowerPoint プレゼンテーション(*.ppt)
- ・Wordドキュメント(*.doc、*.rtf)

■ ミーティングの別名保存

ミーティングの別名保存または送信用に、多彩なファイル形式がサポートされています。
(*WBD, *.PDF, *.HTM, *.BMP, *.EPS, *.JPG, *.TIF, *.emf *.ppt, *.pps)

■ Web ツアー

eBeamソフトウェアのWebビュー機能を使用すると、eBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションからインターネットのWebページにアクセスできます。

Luidia, Inc. 製の eBeam ソフトウェアを使用しております。

使用条件

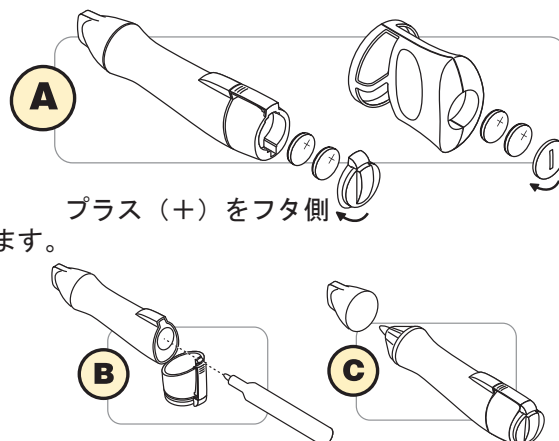
■ パーソナルコンピュータのシステム要件

- ・500MHz以上のPentium プロセッサ搭載のPC/AT互換機
- ・USBポート
- ・Windows XP / Vista / 7 稼働のコンピュータ
- ・32MB以上のRAM、12MB以上のハードディスク空き容量
- ・CD-ROMドライブ(インストール用)

ホワイトボードモードでの利用について

1. マーカーホルダーとイレーザの準備

- A マーカーホルダー、イレーザにボタン電池を2個入れてください。
- B マーカーホルダーにマーカーを、色を合わせて入れます。
(ホワイトボードモード)
* プロジェクションモードのときはプロジェクションペンを利用します。
- C マーカーにキャップをかぶせてください。



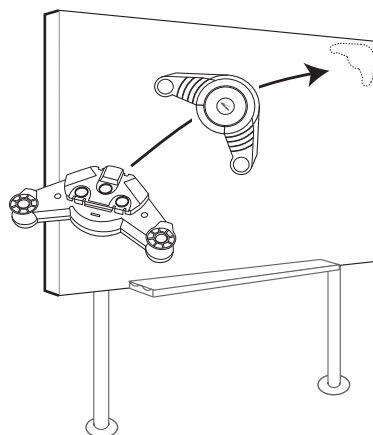
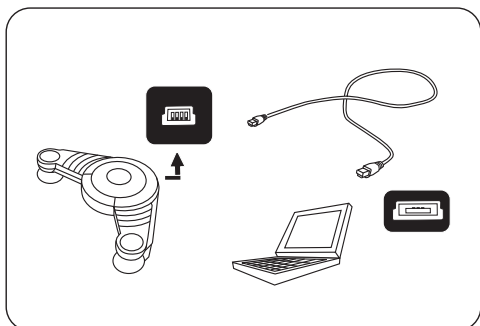
⚠ 警告



- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。
- 電池を火や水の中に入れてください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥した場所に保管してください。
- 電池に衝撃を加えたり、傷つけたりしないでください。
- 交換電池を入れるときは、極性表示に注意して正しく入れてください。

2. USBセンサーポッドの接続と取り付け

USBケーブルでセンサーポッドとパソコンを接続してください。USBセンサーポッドをホワイトボードに取付けます。



3. インストールと使用方法の選択

eBeam Capture CD を利用します。


Diagram showing the installation process: a laptop with a CD, a screenshot of the eBeam Capture installation window, and a screenshot of the usage selection screen.

eBeam Capture CD を画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールの完了をすると、使用方法の選択画面になります。
使用方法選択して「OK」を押してください。

※インストール中にsupport/product registrationでeBeamに登録するステップがありますが、これは、開発元のLuidia社への登録になります。


4. 調整方法（キャプチャエリアの調整）

USBセンサーポッドの位置と書き込み範囲を調整してください。




Initial eBeam software window showing a help message.

センサーの位置を指定



Screen for specifying the sensor position. A whiteboard is shown with a sensor icon and a crosshair.

範囲を指定



Screen for specifying the capture area. A whiteboard is shown with a sensor icon and a rectangular capture area.

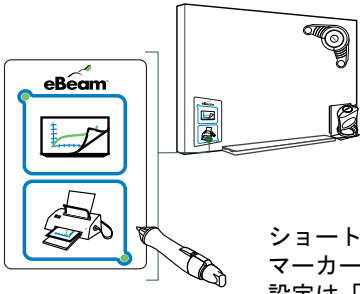
ホワイトボードまたは投影エリアを調整するかどうか尋ねるメッセージが表示されます。
2. で取り付けしたセンサーの位置を選択して、1. で準備したマーカホルダーで画面の指示にしたがって、ペンをタップして下さい。書き込み範囲を指定します。

ホワイトボードモードでご使用になる場合は、以上でセッティング完了です。マーカホルダーを利用してホワイトボードに書き込み（データ取り込み）が可能になります。

eBeamソフトウェアは2回目以降、デスクトップまたはタスクバーのeBeamアイコンから立ち上げてください。

センサーを移動させたり、キャプチャエリアの変更をするときは、eBeamアイコンをクリックして、「キャプチャエリア調整」を再度おこなってください。

5. ホワイトボードモードでの便利な使い方



The diagram shows the eBeam software interface with a whiteboard. The interface has two main sections: the top one shows a graph and a pen icon, and the bottom one shows a printer icon. A whiteboard is shown to the right with a sensor icon and a pen icon. A red box highlights the top section of the interface.

イレーザホルダーを描画エリアの外に取付けてイレーザをのせることができます。

ショートカットストリップを設定すると、「新ページ」と「印刷」の機能をマーカホルダーで指示できます。
設定は「ツール」>「ショートカットストリップ：調整」を選択し、画面の指示に従って行います。

詳細は、eBeam Software CD 内のユーザーガイド（PDF）「使用開始-はじめにお読みください」又は、eBeamメニューバーの「ヘルプ」を参照ください。

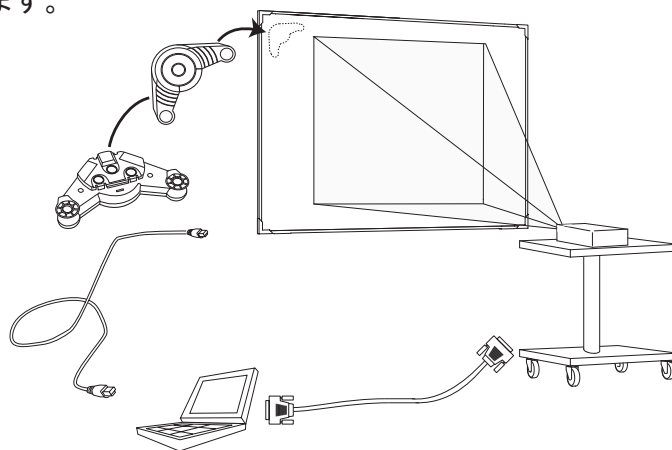
*ユーザーガイド（PDF）はdocsフォルダー内の「doc_eBeam_PC_jp」を選択してください。

プロジェクションモードでの利用について

■ホワイトボードとコンピュータ、プロジェクタの準備

1. USBケーブルの一端 (mini B タイプコネクタ) をセンサーポッドのUSBポートに差し込みます。
2. USBケーブルの他端 (A タイプコネクタ) をコンピュータのUSBポートに差し込みます。
3. センサーポッドをホワイトボードに取り付けます。
4. コンピュータとプロジェクタをVGAケーブルなどの映像ケーブルで接続します。
5. 画像を投影し、プロジェクタを調節します。

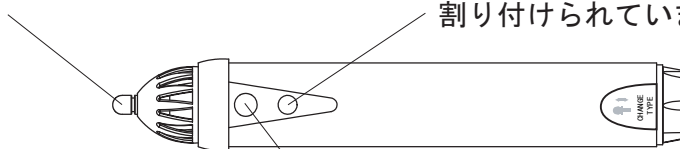
※投影画像はセンサーポッドにかからないよう位置を合わせます。
※本機とコンピュータとの間にUSB2.0規格のハブを接続しないでください。



■プロジェクションペン

・先端スイッチ
押し付けることでマウスの左ボタンの役割を果たします。

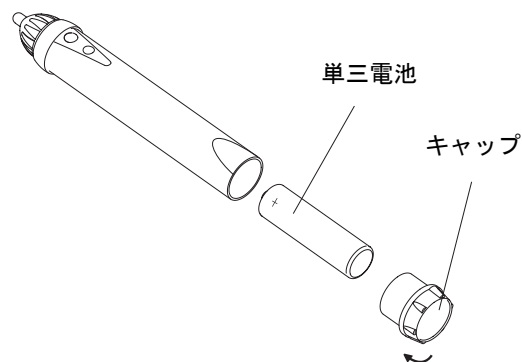
・ホイールツールバーON/OFFボタン
ホイールツールバーのON/OFFの機能が割り付けられています。



・右ボタン
マウスの右ボタンの役割を果たします。

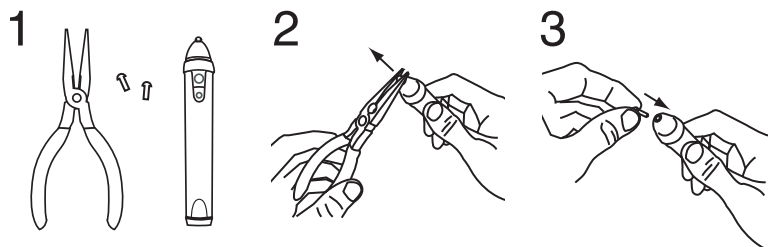
プロジェクションペンの準備

プロジェクションペンのキャップを回して開け、単三電池を1つ、プラス (+) の側を下側に向けて挿入し、キャップを閉じます。



ペン先の交換

1. ラジオペンチ等を用意します。
2. 摩耗したペン先をプロジェクションペンから上に引き抜きます。
3. プロジェクションペンに予備のペン先を、止まるまでしっかりと差し込みます。

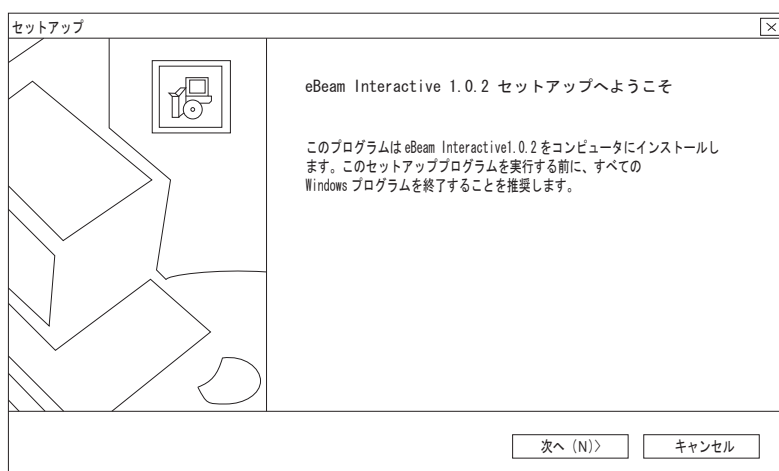


■ソフトウェアのインストール

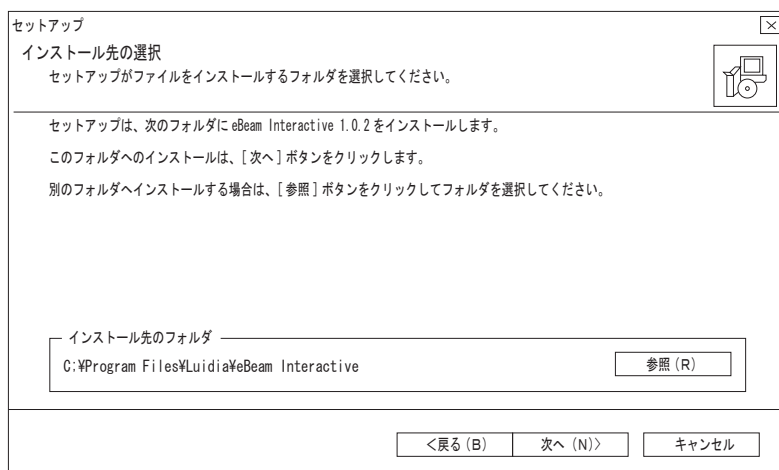
接続コンピュータには、eBeam Interactive ソフトウェアをインストールしておく必要があります。

注意：ソフトウェアをインストールするには12MBのディスク容量が必要です。

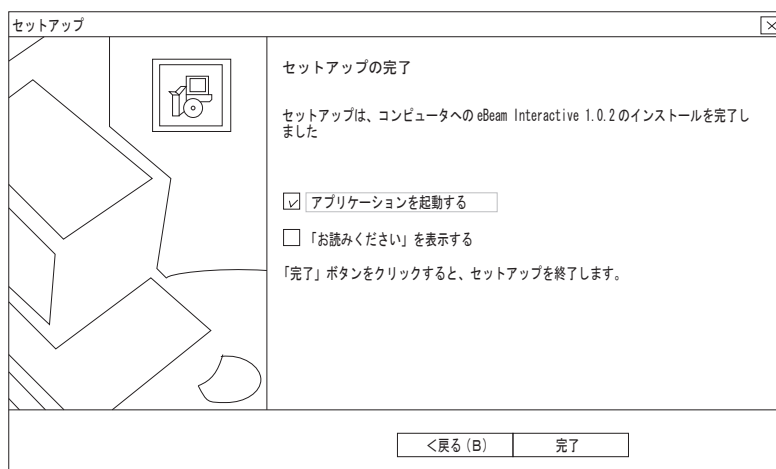
1. eBeam Interactive ソフトウェア CD をコンピュータに挿入します。
2. セットアップへようこそを「次へ」をクリックします。



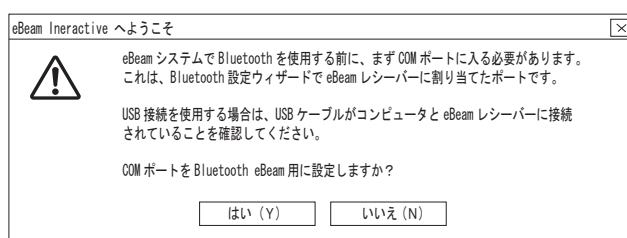
3. 使用許諾契約を読み、「はい」をクリックします。
4. eBeam Interactive ソフトウェアのインストール先ディレクトリを指定し、「次へ」をクリックします。



5. 「完了」をクリックしてください。



6. アプリケーションが起動します。
eBeam Interactiveへようこそを「いいえ」をクリックします。



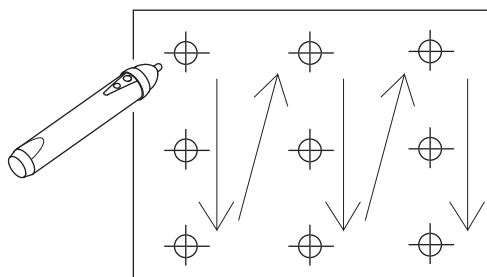
7. インターネットに接続している場合、自動的にユーザー登録ページが開きます。
登録作業を行い、インストール終了です。
※ユーザー登録番号は梱包箱側面に貼られています。
※登録は「ヘルプ」メニュー登録でも可能です。

ソフトウェアを更新するには、当社サイト (www.uchida.co.jp)を利用するか、または「ヘルプ」メニューで「ソフトウェア更新」を選択します。

■調整方法（エリア調整）

eBeam Interactive ソフトウェアを起動しますと、eBeam Interactiveを今すぐ調整するかどうか尋ねるメッセージが表示されます。

「はい」をクリックし、スクリーンボードに投影された赤のマークの中心をプロジェクションペンで左上からタップします。



セッティング終了です。プロジェクションペンでマウス操作ができます。

eBeam Interactive ソフトウェアは2回目以降、デスクトップまたはタスクバーのeBeam Interactiveアイコンから起動させてください。

調整を変更するときはタスクバーのeBeam Interactiveアイコンをクリックして「Interactiveエリア調整」を選択してください。



eBeam Interactiveアイコン

インストールが終了しますと画面右下のタスクトレイに生成されます。


eBeamが検知しませんでした、「eBeam検知」ダイアログボックスが表示されます。コンピュータと本機のUSBケーブルの接続を確認してください。


「eBeam検知」ダイアログボックス


eBeam 検知

eBeam レシーバーは検知されませんでした。
ご使用の接続が有効かどうかを確認してください
接続を変更する場合は下の「設定」ボタンをクリックしてください。

ポート	状況
USB	利用可能
COM1	他のデバイスで使用中
COM2	利用不可

 USB接続を用いて eBeam システムを使用する場合は、USBケーブルがレシーバとコンピュータの両方に正しく接続されていることを確認してください。

 シリアル接続を用いて eBeam システムをしようする場合は、シリアルケーブルと電源ケーブルの接続を確認してください。

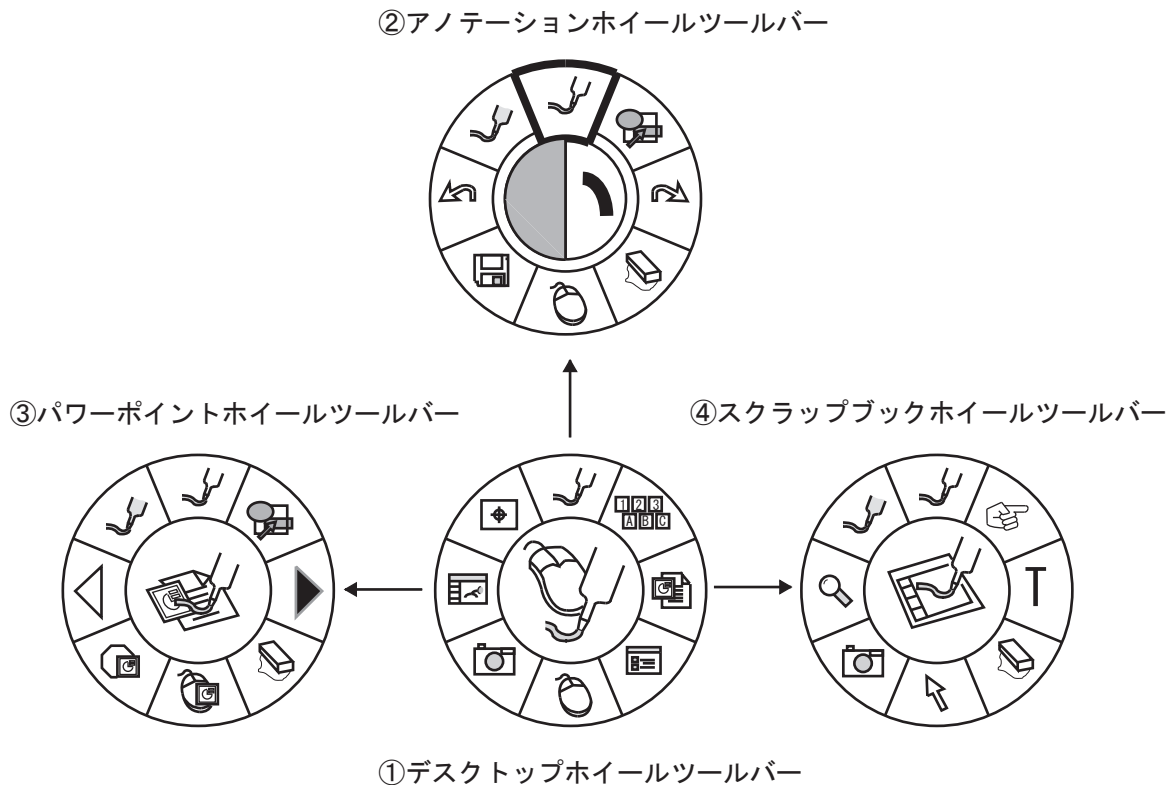
 Bluetoothを用いて eBeam 無線システムを使用する場合には、アダプタ接続ユーティリティでコンピュータと eBeam の「ホワイトボード」との間で接続が確立していることを確認してください。その後、次の「設定」をクリックして対応する COM ポートを選択してください。

ヘルプ 設定 (S) キャンセル 再試行

使い方

■ホイールツールバーの使い方

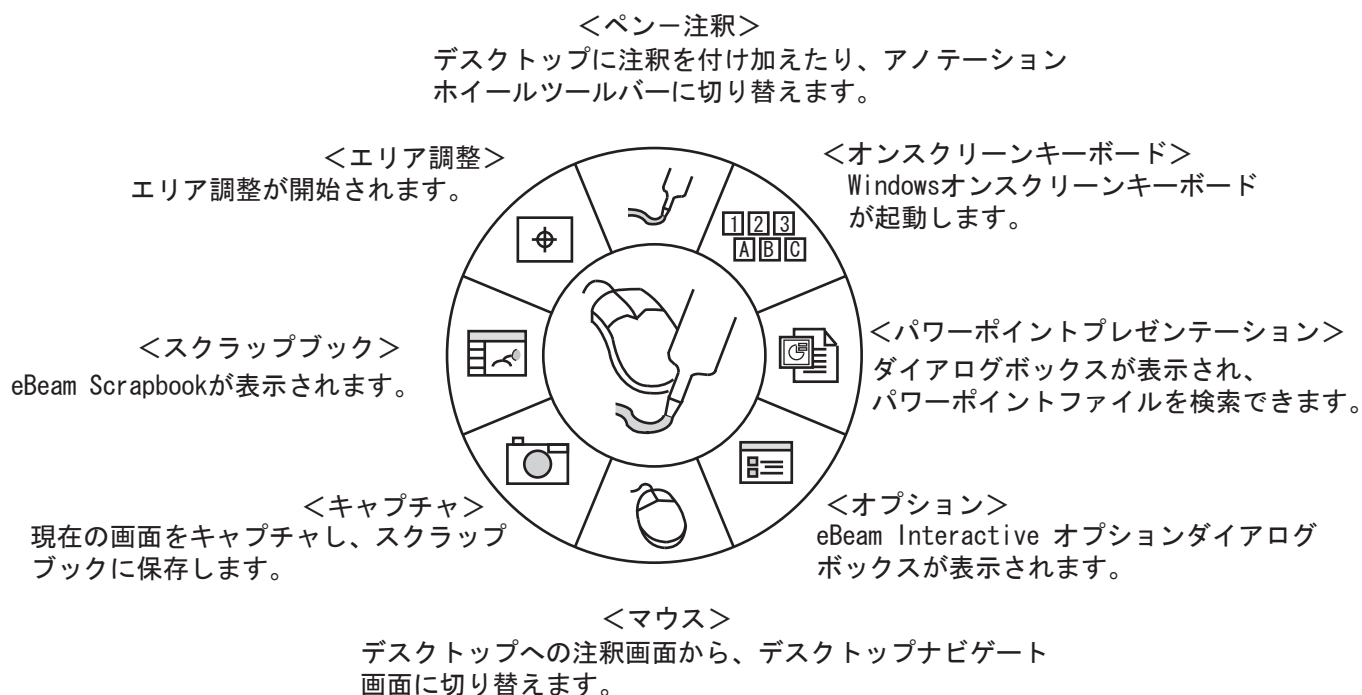
eBeam Interactive アイコンをクリックしてInteractiveツールを選択するか、プロジェクションペンのボタンを押すことによりホイールツールバーが表示されます。



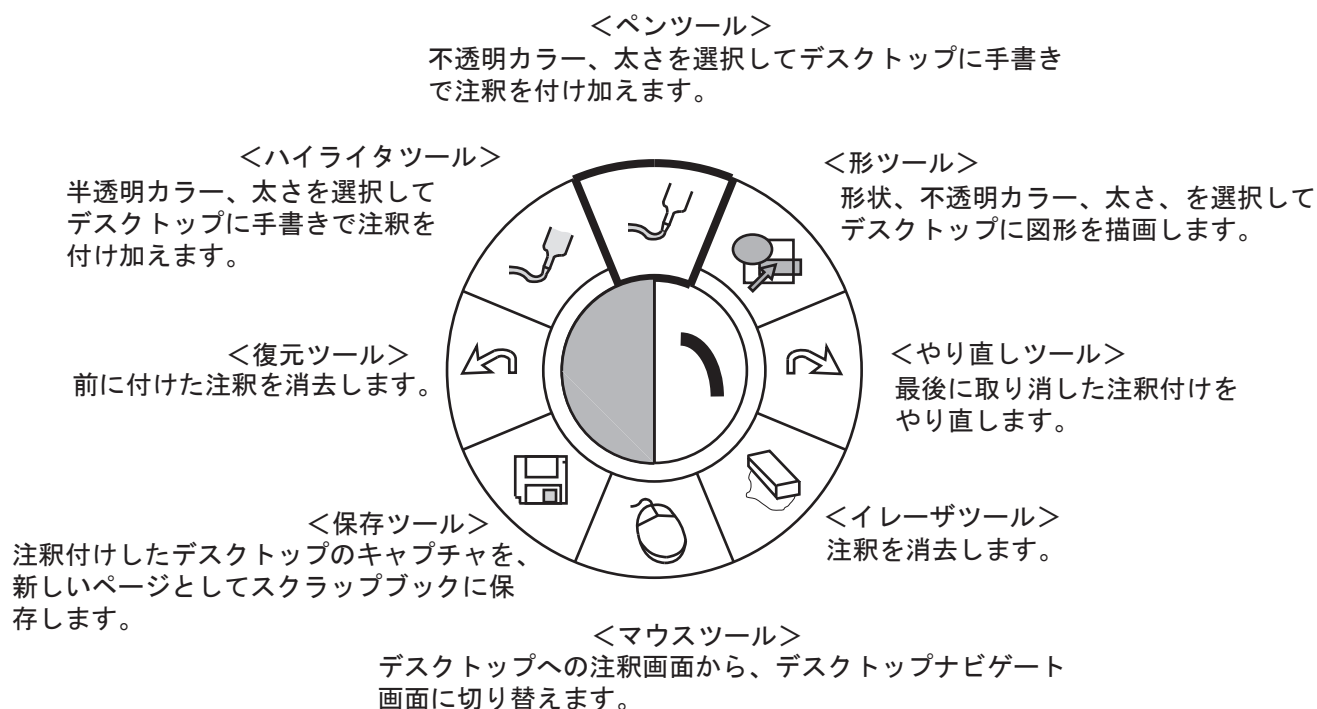
- ①デスクトップホイールツールバー・・・P13
eBeam Interactive ソフトウェアのメインツールバーです。他のツールバー及びソフトウェア機能にアクセスできます。
- ②アノテーションホイールツールバー・・・P13
デスクトップに注釈を付ける際に必要なツールが用意されています。
- ③パワーポイントホイールツールバー・・・P14
パワーポイントスライドショーに注釈を加えたり、ナビゲートするための必要なツールが用意されています。
- ④スクラップブックホイールツールバー・・・P14
ページの描画、拡大縮小、及びページの画像のキャプチャに必要なツールが用意されています。

※ I S - 8 0 本体に接続し、検知されないとホイールツールバーは表示されません。

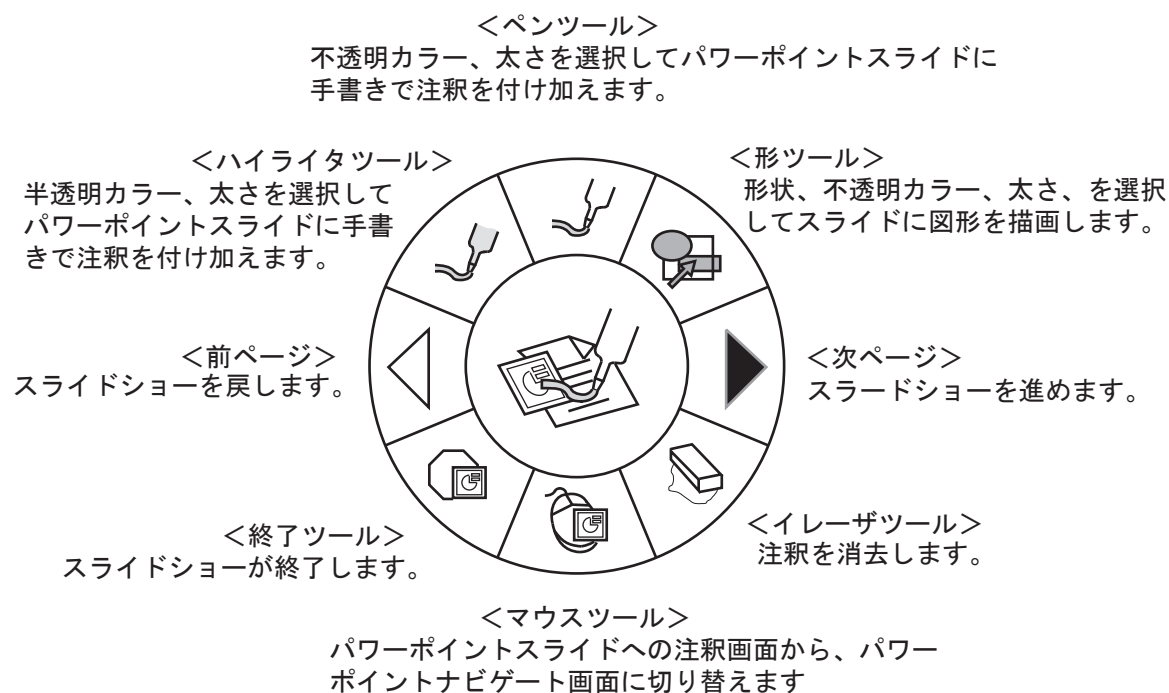
■ デスクトップホイールツールバーの使い方



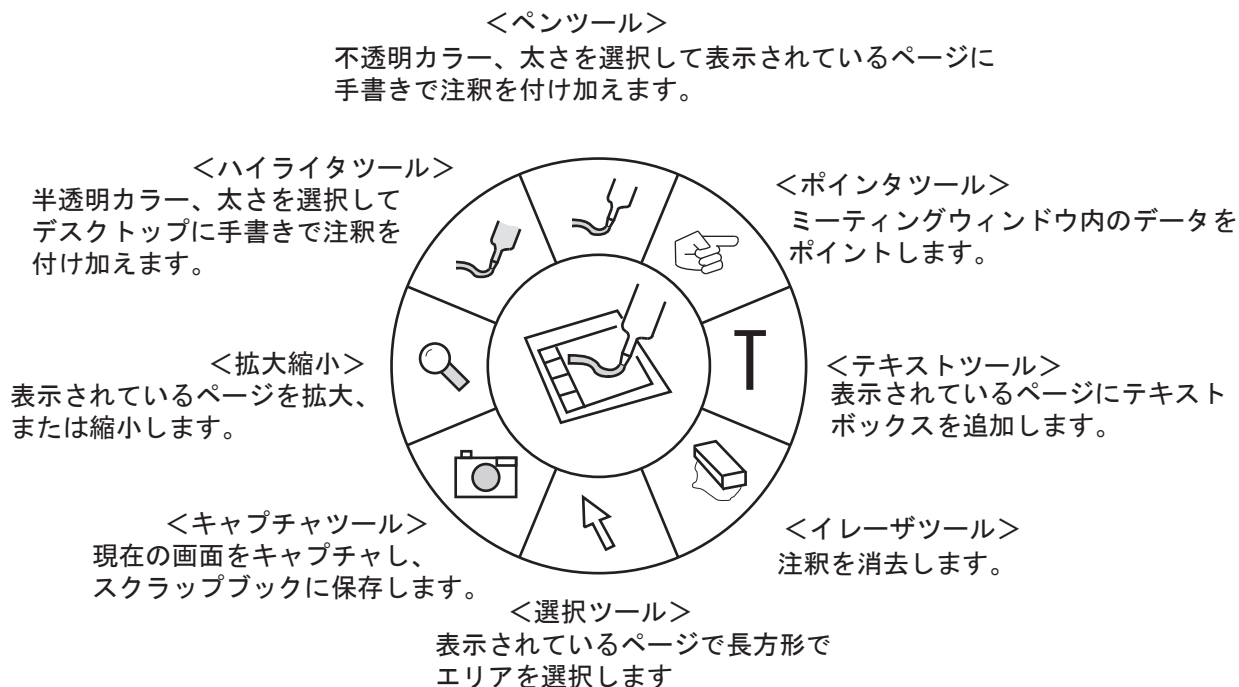
■ アノテーションホイールツールバーの使い方



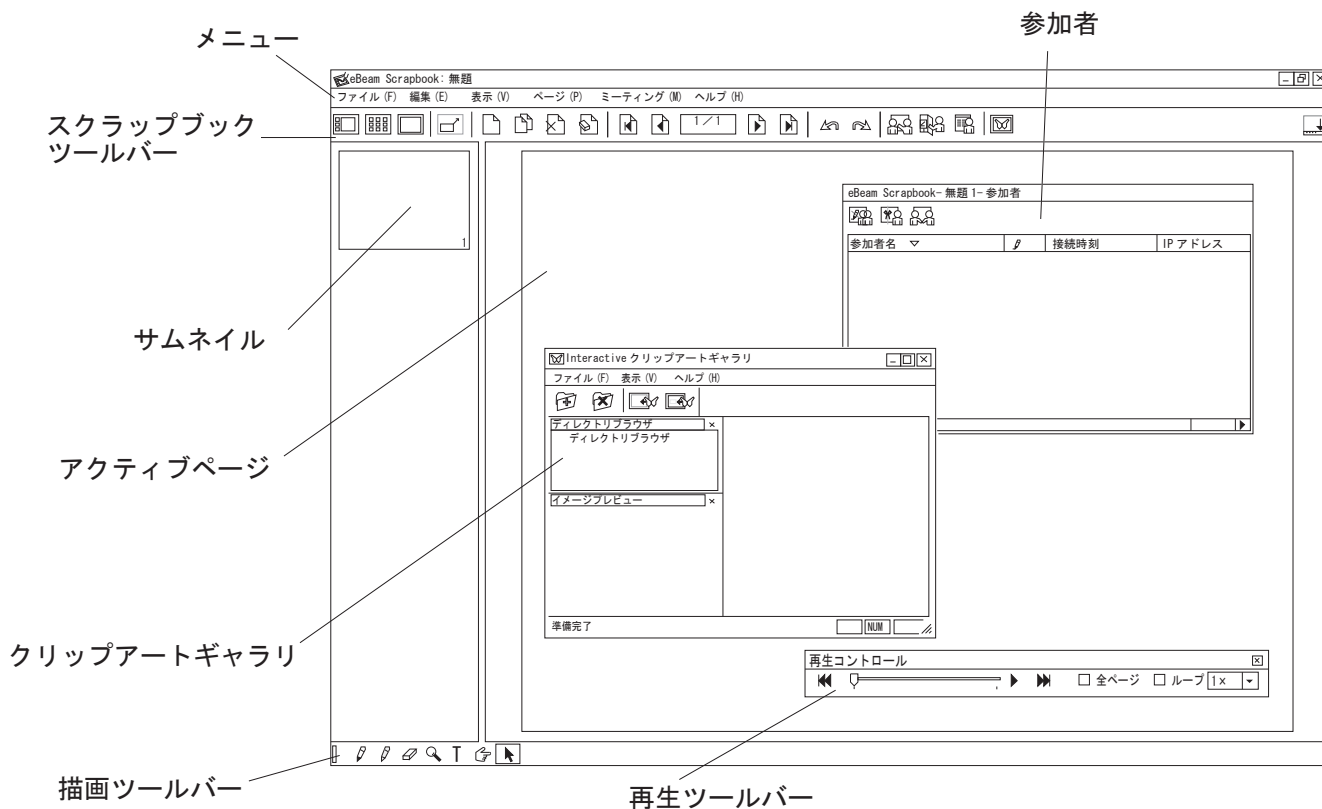
■ パワーポイントホイールツールバーの使い方



■ スクラップブックホイールツールバーの使い方



■スクラップブックの使い方



メニュー

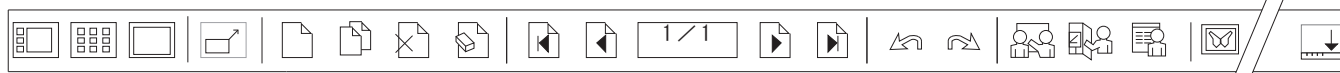
スクラップブックの全機能へのアクセスはここからできます。

アクティブページ

ホワイトボード上の描画がここに表示されます。新しい描画は、最新ページにのみ記録されます。

以上のコンポーネントの詳細については、eBeam Interactiveの「ヘルプ：トピックの検索」を参照ください。

アプリケーションツールバー



- 普通 ページとサムネイルの両方を表示します。
- サムネイル サムネイル表示します。
- ページ表示 ページ表示します。
- フルスクリーン 現在のページが全画面表示になります。
- 新ページ 新しい空白のページを作成します。
- ページ複製 表示または選択されているページのコピーを作成します。
- ページ削除 表示または選択されているページを削除します。
- ページ消去 表示または選択されているページの注釈をすべて消去します。
- ページ消去 表示または選択されているページの注釈をすべて消去します。
- 最初のページ 最初のページに戻ります。
- 前ページ ページに戻ります。
- 現在のページ 現在のページを表示します。また入力したページに進みます。
- 次ページ ページを進みます。
- 最後のページ 最後のページに進みます。
- 元に戻す 前に付けた注釈を消去します。
- やり直す 最後に取り消した注釈付けをやり直します。
- ミーティングを開始
ミーティングを終了 ミーティングの主催者はインターネットを経由してミーティングを共有します。
- ミーティングに参加 ミーティングに参加します。
- 参加者表示 ミーティング参加者を表示します。
- クリップアート クリップアートギャラリーを表示します。
ギャラリー
- 上下に移動 アプリケーションウィンドウ内でアプリケーションツールバーを上下に移動します。

描画ツールバー

描画ツールバーを開くには、「表示」→「ツールバー」→「ツール」を選択します。



- マーカ マーカで手書きする場合に使用します。
- ハイライタ 半透明カラーで手書きする場合に使用します。
- イレーザ 注釈を消去します。
- ズーム 表示されているページを拡大、または縮小します。
- テキスト 表示されているページにテキストボックスを追加します。
- ポインタ ミーティングウィンドウ内のデータをポイントします。
- セレクト 表示されているページで長方形でエリアを選択します。

※描画ツールバーはeBeam レシーバーが検知されていない場合のみ使用可能です。

再生ツールバー

再生ツールバーを開くには、「表示」→「ツールバー」→「再生」を選択します。



- 最初に戻る マーカで描画を始める前の状態にページを戻します。
- スライダー ドラッグすることによって、描画ストロークの推移を表示します。
- プレイ ページ上の描画ストロークの推移を表示します。プレイ中はプレイ中止ボタンとなり、ボタンを押すことによって描画推移の表示を中止します。
- 最後にジャンプ ページの最後の状態を表示します。
- 全ページ ミーティングの最初から最後まで、全ページの推移を表示します。
- ループ プレイを繰り返します。
- プレイ速度 プレイ速度を指定します。

クリップアートギャラリーツール

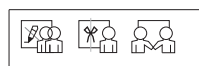
クリップアートギャラリー表示は、「ファイル」→「画像ギャラリー」を選択、またはクリップアートギャラリーアイコンをクリックします。



- ディレクトリを ディレクトリをギャラリーに追加します。
ギャラリーに追加
- ディレクトリを ディレクトリをギャラリーから削除します。
ギャラリーから削除
- 背景としてScrapbook 選択したファイルを背景としてScrapbookに追加します。
に追加
- 画像としてScrapbook 選択したファイルを画像としてScrapbookに追加します。
に追加

参加者表示、ミーティング主催者ツール

参加者表示は、「表示」→「参加者」を選択、または参加者アイコンをクリックします。以下のツールはミーティング主催者のみが使用可能です。



- 表示のみ/発言可 参加者の表示を「表示のみ」または「注釈可」に設定できます。
- 参加者の強制退去 ミーティングへの参加者の参加を停止できます。
- 主催者と 参加者はミーティング主催者が表示されているページのみ表示できます。
同一ページ表示 ただしこの場合、リモート参加者が注釈を付けることは可能です。

■ ネットワークミーティングの使い方

ミーティングの主催と参加

eBeam ミーティングに参加するには同室にいる必要はありません。ネットワークを介して参加できます。ネットワークミーティングを主催する場合は、ミーティングサーバが必要です。社内LAN / イン트라ネットネットワークミーティングを開催する場合は、サーバとしてローカルコンピュータ（eBeamハードウェアの接続されたコンピュータ）を使用できます。社外も含めてインターネットで世界中の参加者が参加できるネットワークミーティングを開催する場合は、インターネット用サーバが必要です。EFl ではこのサーバを提供しています。

● ミーティングを開始

1. eBeam Interactiveを起動します。
2. 「ミーティング」メニューから「ミーティングを開始」を選択します。
3. 「サーバ情報」欄でミーティング主催サーバを選択します。
主催者のコンピュータまたはeBeam ミーティングサーバを選択できます。eBeam ミーティングサーバのプルダウンメニューには、「eBeamサーバ」 および以前一覧に追加したサーバ名が表示されます。この欄にサーバ名を追加するには右側のアイコンをクリックします。
4. 「ミーティング情報」欄でミーティング名と主催者名を入力します。
ユーザがミーティングに参加する際に、この「ミーティング名」で参加ミーティングを選択します。このダイアログボックスで名前を変更するまで、同一名が使用されます。ミーティング名は半角英数字 20 バイトまで入力可能です。
5. 全ネットワークユーザにミーティング名を公開する場合は、「ミーティング名を公開」を選択します。
ミーティング名を公開しない場合、「ミーティングに参加」ダイアログボックス内のミーティング名一覧にこの名前が表示されません。このためミーティング参加者はミーティング名をあらかじめ入手し、入力する必要があります。
6. パスワードが必要な場合は「パスワード使用」を選択し、パスワードを入力し、確認用に同一パスワードを入力します。
パスワードは半角英数字 20 バイトまで入力可能です。
7. 参加者にミーティング名、ミーティングの時間、およびパスワード（必要な場合）を知らせます。
8. 「開始」をクリックします。
指定ミーティングサーバでネットワークミーティングが始まり、参加可能になりました。

※eBeam レシーバーが感知されないとミーティングはご利用できません。

● ミーティングの実施

リモート参加者は、eBeam スクラップブックまたはWeb ブラウザを使用して、ミーティングに参加、発言が可能です。デフォルトでは、リモート eBeam 参加者はどのページにも描画、ハイライト、テキストの追加が可能です。ミーティングの主催者は、全員または個々の参加者に対して、これらの機能の使用を制限できます。

これらの追加情報はどの参加者のモニタ上にも表示されます。

Web 参加者も、描画、ハイライト、テキストの追加をするツールにアクセスできます。

1. ミーティングの開始直前、またはミーティング中に、「参加者アイコン」をクリックすると、ネットワーク上の現参加者のリストが表示されます。
2. 「ミーティング主催者ツール」から「主催者と同一ページ表示」アイコンを選択すると、主催者のアクティブページが、参加者の画面でのアクティブページとなります。この機能を使用すると、ミーティングに途中参加したユーザも、主催者と同じページを見ることができます。主催者が他のページをアクティブにすると、全ての参加者の画面で、同一ページがアクティブページとなります。この機能が選択されている場合、参加者は、ページ選択のツールを使用できません。
3. 「参加者」画面で、参加者名を右クリックし、「参加者情報」を選択すると、参加者情報を表示することができます。
4. 試しに少し書いてみてから、接続コンピュータのeBeam スラップブック画面上にそれらが正しく表示されることを確認します。
5. 参加者名を右クリックし「注釈を許可」を選択、または「表示のみ/発言可」設定アイコンをクリックすると、その参加者だけ書き込みできないように設定可能です。
6. 参加者名を右クリックし「強制退去」を選択、または「強制退去」アイコンをクリックすると、特定の参加者をミーティングの続きから除外できます。
7. ホワイトボードで、書いたり、消したり、新ページを作成したりなどの作業を続けます。

● ミーティングに参加

eBeam ソフトウェアまたは Web ブラウザを使用してミーティングに参加できます。

サーバ設定

ミーティングサーバの追加

ミーティング参加時に、ミーティングサーバを選択する必要があります。参加のつどサーバ情報を入力できますが、頻繁に使用するサーバの情報を一覧に登録しておいて、参加時に一覧からそのサーバを選択することもできます。

ミーティングサーバを一覧に追加するには：

1. 「ミーティング」メニューから「ミーティングを開始」または「ミーティングに参加」を選択します。
2. 「サーバ情報」欄、「ミーティング主催サーバを選択」欄の右側のアイコンをクリックします。
3. 「ミーティングサーバ」ダイアログボックスで「追加」をクリックします。
4. サーバ名、その DNS 名または IP アドレス、およびポート番号を入力し、「OK」をクリックします。
デフォルトのポート番号は「80」です。サーバ一覧にこのサーバ情報が表示されます。
5. 「閉じる」をクリックします。

トラブルシューティング

接続と電源に関する問題

eBeam メッセージ	対 策
「eBeam検知」ダイアログボックスが繰り返し表示されます。	<ul style="list-style-type: none">・ コンピュータ背面のUSB接続を点検してください。・ eBeam用の全ケーブルが接続されていることを確認してください。・ 「eBeam検知」ダイアログボックスで選択されているポートが適切なポートであることを確認します。・ 本機とコンピュータとの間にUSB2.0規格のハブが接続されていないか確認してください。本機ではUSB2.0規格のハブはご使用できません。・ 「eBeam検知」ダイアログボックスから「再試行」を選択します。・ コンピュータに接続したPDA（Palm または PocketPC デバイス）がありませんか？接続している場合は、COMポートに接続したままで、eBeamシステムの接続を妨げている可能性のあるPDA用プログラム（同期プログラムなど）をすべて終了してください。・ eBeam Interactiveを一旦終了し、再起動してください。・ 本体USBポートからUSBケーブルを一旦取り外し、再度取り付け、eBeam Interactiveアイコンより「システム検知」を選択してください。
プロジェクションペンが反応しない	<ul style="list-style-type: none">・ eBeam Interactive を起動しeBeamレシーバーが検知したことを確認してください。 （eBeamレシーバーが検知されると画面右下のeBeam Interactiveアイコンがカラーになります。）・ 上記の操作を行っても問題が解消しない場合、プロジェクションペンの単三形電池を交換してください。
プロジェクションペンの描画と画面にずれがある。	<ul style="list-style-type: none">・ Interactive エリア調整を行なってください。
ミーティングを主催できません または ミーティングに参加できません	<ul style="list-style-type: none">・ サーバの設定を確認してください。（「ミーティングを開始」参照）

おもな仕様

仕様一覧

仕 様	外形寸法	(W) 1 6 0 × (D) 1 6 0 × (H) 3 0 mm
	有効範囲	(W) 1 8 0 0 × (H) 1 2 0 0 mm
	質量	約 1 5 0 g
	インターフェイス	USB
	入力操作方式	超音波、赤外線
	操作器具	プロジェクションペン
システム 環境	パソコン	IBM PC / AT互換機
	CPU	PentiumIII 500MHz以上
	通信ポート	USBポート
	メモリー	32MB以上
	OS	Windows 2000 / XP / Vista / 7
	その他	CD-ROMドライブ

※CPU、メモリ環境は当該OSが稼動していることが前提となります。またメモリが少ない場合、一部の機能に制限があります。

